

【いしゃしゃ】

向こう岸の医者が、引っ越すというので、気味のわるいおやじだけれど、世話になってもいるので、村のみんなでお別れ会をしました。

そのあと、お礼だといって、医者がみんなに薬を持ってきました。

「薬は飲まん。わしは元気さ」

「薬は不要よ。わたしゃ健康じゃもの」

「薬なんかいらん。おれは病気じゃねえ」

みんな口々に断ると、医者は首をふって、

「そんなこといわんで。大丈夫、問題ない。この薬を飲めば、だれでも元気がなくなり、不健康になり、病気になりますからね」

あとで懐爺にきくと、向こう岸の医者は、引っ越しなんかしないとのこと。

「だば、あいつはだれじゃ」

「【いしゃしゃ】ですよ。医者になりたがって困るおばけです。でもそこに、女の子がいなくてよかった」

「なぜじゃ」

「【いしゃしゃ】は、お医者さんごっこが大好きですからねえ」